

前回第2回再構築会議（7/29）での意見

- ・ 脱炭素の観点からハイブリッド気動車はメリットがあるが、定期的に蓄電池の交換が必要であり、ランニングコストへの影響を考えると持続的とは言えないのではないか。電気式気動車が現実的だと思う。

電気式気動車を基本に検討

前回第2回再構築会議（7/29）以降の変化点

【ハイブリッド気動車の課題】

- ・ 定期的に蓄電池の交換が必要となり、メンテナンス費用がかかる。
（8～10年ごとに交換）

【変化点】

- ・ J R 西日本の将来のハイブリッド車両用にメーカーで開発していた新型蓄電池の開発が進み、城端線・氷見線の新型車両に実装できる目処。

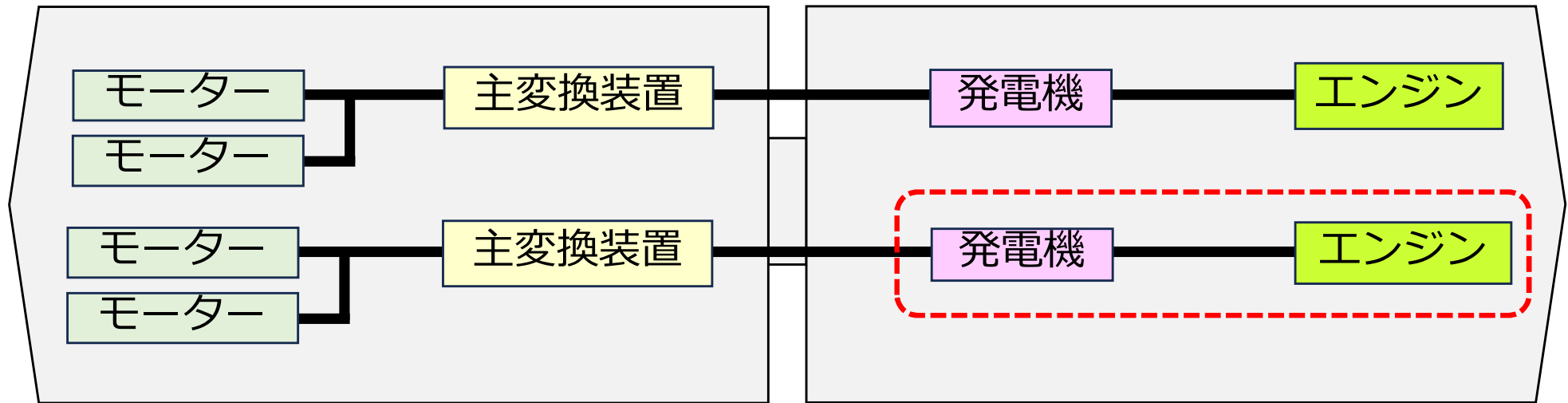
【新型ハイブリッド気動車の特徴】

- ・ 蓄電池の長寿命化（従来比約2倍※）の実現に目処（定期的な交換は必要）
※使用環境により異なる
- ・ 蓄電池の高出力化によるエンジン・発電機の台数削減
（エンジン・発電機2台＋蓄電池 → エンジン・発電機1台＋蓄電池）

蓄電池の交換頻度減、エンジン・発電機の減等によりメンテナンス費用の低減に寄与

電気式気動車と新型ハイブリッド気動車とのシステム比較（イメージ）

電気式気動車



新型ハイブリッド気動車

